

伊吹高校 書道部 全国舞台で活躍

「書の甲子園」として知られる「第33回国際高校生選抜書展」(毎日新聞社、毎日書道界主催)で、本校書道部が団体の部で初の全国優勝を果たし、個人では加藤花季さん(2年生)が昨年に引き続き文部科学大臣賞を受賞しました。

今回は、海外の14カ国・地域を含め、計10,635点の応募があり、栄誉に輝きました。2月9日、大阪北区の毎日新聞大阪本社にて表彰があり、式典の最後に、部員全員による書道パフォーマンスを披露しました。

また、第21回安芸全国書展高校生大会では、2年加藤花季さんが文部科学大臣賞を受賞しました。



【2025年2月17日 書道部祝賀会】

「第33回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」団体の部で全国優勝した書道部 および 同 個人の部で 文部科学大臣賞を2年連続で受賞、さらに、第21回安芸全国書展高校生大会で 文部科学大臣賞を受賞した 2年加藤花季さんの 報告会 および 祝賀会(しゅくがかい) を開催しました。

はじめに、生徒会執行部による開会宣言を行い、校長の挨拶の後、来賓としてお越しいただいた米原市副市長 宮川 巖 様よりご挨拶をいただきました。生徒たちの活躍とともに喜ぶとともに、今回の栄誉は米原市にとっても誇りであり、今後も更なる活躍の期待を込めたメッセージを伝えてくださいました。

また、池宮生徒会長からも祝福のメッセージを述べました。

その後、米原市からお祝い金、同窓会からスポーツ・文化賞および副賞を、生徒会からは記念品目録、個人の加藤さんには大きな花束が贈られました。

次に、顧問の押谷教諭より、部員一人ひとりについて丁寧に紹介をされました。生徒と顧問の深い信頼関係のもとで成長を遂げ、今回の受賞に至ったものと思われます。お互いに自慢の恩師であり、自慢の教え子であり、深い絆を感じました。

最後に、部長の松村さん、そして個人受賞した加藤花季さんより、お礼の言葉を述べました。感謝の意を伝えるとともに、今回の受賞で満足することなく、更なる高みを目指して努力することを誓っていました。



報告会の後、祝賀パーティーに移り、和田同窓会長の乾杯の後、互いの健闘を讃えとともに来賓の方や生徒会の仲間、学校関係者から祝福を受けていました。

今後の活躍を多いに期待しています。